

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	健康づくりと介護予防
-------------	-------------------

現状と課題

令和2年度に実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、「現在治療中の病気又は後遺症のある病気」として「高血圧」が50.0%と最も多く、次いで「糖尿病」が16.7%となっています。これらのような慢性疾患が併存したり、重症化したりすると運動機能の低下につながり、ひいては要介護状態につながるおそれがあります。

健康事業に対する関心を高め、現在抱えている疾病等の重症化を防ぐために健康的な生活習慣を促し、加えて介護予防や重度化防止に取り組む意欲を引き出すことが必要です。

第8期における具体的な取組

- ・健康教室、健康教育、健康相談
- ・介護予防普及啓発事業
 - 地域まるごと元気アッププログラム（まる元）
 - 介護予防講演会の開催
 - 体力測定会の開催
- ・地域介護予防活動支援事業
 - 地域サロン（ゆる元体操）

目標（事業内容、指標等）

	R3年	R4年	R5年
健康教室開催数	50回	50回	50回
健康相談開催数	30回	30回	30回
まる元運動教室延べ参加者数	2,500人	2,600人	2,700人
地域サロン（ゆる元体操）延べ参加者数	3,000人	3,100人	3,200人

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・健康教室・健康相談は開催回数を計上する。
 - ・まる元運動教室は参加者数を計上する。
 - ・ゆる元体操は、ゆる元体操指導者が地域サロンで指導した延べ人数を計上する。